第6学年家庭科「目指そう 冬のほっとエコライフ」

学習指導者 山本 千穂

冬の生活の問題を見いだし、「快適で環境にもよい、ほっとエコライフを目指そう」という題材のゴールを設定して学習を進めてき ました。本時では、冬の服の長所や短所などの特徴を「空気の含有量」「風通し」「動きやすさ」の観点でまとめたカードを使って、 生活場面に合わせて既習の様々な着方を選んで、諦めずに試行錯誤する方法を身に付けさせました。

場面に合わせた着方を考えよう

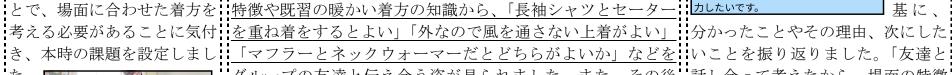
【見诵し】

た。



【行動】

前時に調べた様々な冬服の! 見通し場面での「全ての上着を着 特徴を振り返り、「短所を力!!ると動きにくい」という声から、公 :バーし合うために全ての服を!!園に遊びに行くときにはどのような 組み合わせればよいのではな::服装がよいか、前時までに作ってい いか」という考えから、上着こた「冬のアイテムカード」を操作し を四つ重ね着した例を見るこれながら考えました。それぞれの服の





の考えたい場面を選び、公園の例と同じった。家の中でも重ね着を工夫した 様に、自分の持っている服ならどう組::い」「これからは目的まで考えて決: み合わせられそうかをカードを操作し!!めたい」など、生活の中でも試して! て考えていました。

【振り返り】

とが大切だと分かりました。その理由 は、班のみんなと話し合うことができた 布のと特徴も話し合うことができた

三つ の観点 (分かっ たこと、 理由、 次へ)を 基に、

グループの友達と伝え合う姿が見られました。また、その後!話し合って考えたから、場面の特徴! はスポーツの応援や犬の散歩など自分工に合わせて組み合わせることが分か いこうという意欲を高めました。

成果と 課題

○観点を三つに整理した「冬のアイテムカード」を用いて、既習の着方を選んで組み合わせていくことで、お互いの意見 の違いに目を向けて話し合うことができた。

▲活動を精選し、自分の生活での着方を考える時間をもっと取るべきであった。習得させたい諦めずに試行錯誤する方法 をより意識させるために、子供に伝わる言葉でモニタに提示したり板書したりして、視覚的に提示する必要があった。